

# 1. 事業の報告

## (1) 主催事業

### (イ) 第65回（平成27年度）河北文化賞の贈呈

東北の学術、芸術、体育、産業、社会活動の各分野で顕著な業績を上げた個人、団体に贈る第65回河北文化賞は、東北6県から推挙を受けた計40件の中から個人2、団体2の計4件の授賞を決定した。贈呈式は平成28年1月16日、仙台市の仙台国際ホテル「平成の間」で、東北各県各界の代表約340人の列席を得て行った。

※河北文化賞贈呈式に当たり、河北文化賞の意義や目的を広報するため、これまでの受賞者を紹介した冊子を刊行した。

受賞者と業績は次の通り。

「世界および東北地方のがん医学への貢献－基礎研究、臨床研究から－」

山形大学医学部参与 嘉山孝正

「40年にわたりオペラ文化の普及発展に貢献」

仙台オペラ協会

「多年にわたり美術界の発展と芸術文化の向上に寄与」

彫刻家 土屋瑞穂

「原発事故の避難区域で操業を継続」

株式会社菊池製作所

贈呈式では、一力雅彦理事長が受賞者の業績を紹介し、「受賞者に深甚なる敬意と祝意を表す。今後も研さんを積み、河北文化賞の意義をより深いものにしてほしい」とあいさつ。鈴木紳一常務理事が審査経過を報告し、一力理事長が受賞者に本賞の賞牌と副賞の金一封を贈った。各受賞者のあいさつ後、地震科学探査機構顧問の村井俊治氏が「新しい地震予知に挑む」と題して記念講演を行った。引き続き茶話会に移り、各推挙者から受賞者それぞれの人柄や業績の紹介があり、盛会のうちに幕を閉じた。

(ロ) 第79回河北美術展の開催

河北新報社との共催で第79回河北美術展を4月23日から5月4日まで、仙台市の藤崎本館7階催事場と8階グリーンルーム、一番町館5階で開催した。

わが国最大の地方公募展として歴史、規模を誇る同展は、東北における美術文化の向上に大きな役割を果たしており、中央画壇にも数多くの人材を輩出している。今回は、日本画、洋画、彫刻の3部門に、東北6県はもとより全国各地から922点（前回927点）の作品が寄せられた。

展覧会には、厳しい審査で選ばれた入賞31点と入選348点、さらに審査員、参与、顧問、招待作家の作品60点の計439点が展示され、連日多くの美術ファンでにぎわった。

最高賞の河北賞は、日本画＝大槻勝美（仙台市）、洋画＝畑中良二（石巻市）、彫刻＝中山丈志（仙台市）の各氏。文部科学大臣賞は、洋画＝小野寺さゆり氏（栗原市）が受賞した。

審査は、日本画＝岡村倫行（日展）、宮廻正明（日本美術院）、洋画＝村田省蔵（日展）、佐藤泰生（新制作協会）、遠藤彰子（二紀会）、彫刻＝木戸修（無所属）の各氏が行った。

本展終了後、栗原市、大崎市、利府町で巡回展を開催、好評を博した。

(ハ) 若鷲旗争奪第45回東北中学校野球大会兼第38回全国中学校軟式野球大会東北予選会の開催

東北中学校体育連盟、東北軟式野球連盟、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、名取市教育委員会との共催で、第45回東北中学校野球大会を第38回全国中学校軟式野球大会の東北予選会と兼ねて8月5日から7日までの3日間、仙台市民球場と名取市民球場を会場に開催した。

東北各県から下長、板柳（青森）、仙北、久慈（岩手）、秀光中教校、松島（宮城）、八郎瀉、秋田北（秋田）、遊佐、山形十（山形）、中央台南、平二（福島）の計12チームが出場、熱戦を繰り広げた。

決勝は秀光中教校と松島による宮城勢同士の対戦となり、秀光中教校が3

年連続4度目の優勝を飾り、若鷲旗を手にした。

(二) 第63回河北書道展の開催

東北書道界の最高峰を誇る第63回河北書道展を河北新報社との共催で、8月11日から16日までの6日間、藤崎本館7階催事場、6階美術ギャラリー、3階特別室、一番町館5階で開催した。

今回は東北各県から会友、一般合わせて944点（前回970点）の応募があった。部門別の応募状況は、第1部（漢字）197点、第2部（かな）76点、第3部（墨象）129点、第4部（近代詩文）206点、第5部（少字）93点、第6部（篆刻・刻字）76点、第7部（一行書）167点。

大友青陵審査委員長以下の審査員が厳正かつ慎重な審査を行った結果、入賞20点、特選77点、準特選50点、入選638点が決まった。

河北賞は、第1部＝中條天真（仙台市）、第2部＝後藤美泉（鶴岡市）、第3部＝西條松雲（石巻市）、第4部＝大槻とも子（仙台市）、第5部＝渋谷睦子（山形市）、第6部＝遠藤珠玉（多賀城市）、第7部＝岡崎翠園（岩沼市）の各氏が受賞した。

展覧会には、入賞、入選作品と特別顧問、顧問、参与、運営委員、審査員、審査会員、招待、委嘱作家の作品を合わせた968点を展示、訪れる書道ファンを楽しませた。本展終了後、大崎市で巡回展を開催し、好評を得た。

(ホ) 第60回全東北ピアノコンクールの開催

東北放送、東北放送文化事業団との共催による第60回全東北ピアノコンクールの本選会を6月12日、仙台市の宮城野区文化センターで開催した。

今回は東北6県にゆかりのある41人が参加し、うち予選を通過した8人が本選に出場。審査の結果、東京藝術大学音楽学部2年京増修史さん（仙台市出身）が第1位に輝き、文部科学大臣賞を受賞した。

このコンクールは、東北の音楽文化の振興をはかるとともに、若手演奏家を育てようと昭和32年にスタート。以来、60回を数え、この間、多くの優れたピアニストを中央楽壇に送り出すなど、大きな成果を上げている。

#### (ハ) 第25回河北工芸展の開催

河北新報社、宮城県文化振興財団との共催で、第25回河北工芸展を10月28日から11月3日までの7日間、仙台市のTFUギャラリーミニモリで開催した。

同展は東北の工芸美術の振興と発展を目的に、平成4年に創設。東北地方をはじめ全国各地から227点（前回226点）の応募があった。

原清（日本工芸会）、春山文典（現代工芸美術家協会）、内藤英治（日本新工芸家連盟）の3氏が審査に当たり、入賞17点、入選143点を選んだ。最高賞の河北賞は、染織の千葉洋子氏（宮城・美里町）が受賞した。

展覧会場には、入賞、入選作に審査員、参与、顧問、招待作家の作品30点を加えた190点が展示され、連日多くの工芸ファンが詰め掛けた。

#### (2) 協力事業

宮城県芸術協会、河北新報社などが主催する第53回宮城県芸術祭に協力し、優秀な成績を収めた12人に本団から奨励賞を交付した。

受賞者は、絵画部＝清野榮彌、安達吉男、帆苺清治、写真部＝竹内邦昭、八巻順子、書道部＝伊澤香雨、藤野秀一、庄子紀子、今野桃生、中條天真、下田真菜、文芸部＝大場恭子の各氏。

## 2. 庶務・管理

### 1. 理事に関する事項

特に無し

### 2. 会議に関する事項

#### (1) 理事会

開催日/場所	議事事項	結果
--------	------	----

#### 第1回通常理事会

H28. 2. 2 仙台国際ホテル	1. 平成27年度事業報告書案承認の件 2. 平成27年度決算報告書案承認の件 3. 定時評議員会の日程及び場所並びに目的である事項等の件 報告	原案通り満場一致で承認可決 原案通り満場一致で承認可決 原案通り満場一致で承認可決
	1. 理事長、常務理事の職務執行状況の件	原案通り満場一致で承認可決

#### 第2回通常理事会

H28. 12. 7 河北新報社 役員会議室	1. 第66回（平成28年度）河北文化賞授賞候補者（団体）承認の件	原案通り満場一致で承認可決
	2. 平成28年度事業計画書案承認の件 3. 平成28年度収支予算書案承認の件 報告	原案通り満場一致で承認可決 原案通り満場一致で承認可決
	1. 理事長、常務理事の職務執行状況の件	原案通り満場一致で承認可決

#### (2) 評議員会

開催日/場所	議事事項	結果
--------	------	----

#### 第1回定時評議員会

H28. 2. 23 仙台国際ホテル	1. 議事録署名人の選出 2. 平成27年度事業報告書案承認の件 3. 平成27年度決算報告書案承認の件	原案通り満場一致で承認可決 原案通り満場一致で承認可決 原案通り満場一致で承認可決
-----------------------	--	---

(3) 委員会

開催日	分類	議事事項
H28. 11. 18 河北新報社 3階第3会議室	河北文化賞事前審査小委員会	第66回（平成28年度） 河北文化賞受賞候補者の選考
H28. 12. 7 河北新報社 役員会議室	河北文化賞審査委員会	第66回（平成28年度） 河北文化賞受賞者の最終選考